



日章学園九州国際高等学校校長便り 瞳月

建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：自分を磨け

学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和6年(2024年)1月9日(火)校長 屋田伸仁



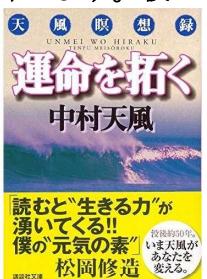
HAPPY NEW YEAR 連命を拓く 龍

明けましておめでとうございます。

1月1日の能登半島地震は、最大震度7を観測し、甚大な被害をもたらしました。余震も続き、家屋損壊や多数の死傷者、避難者がいました。亡くなられた方々のご冥福と一日も早い復旧をお祈り申し上げます。



さて、昨年、世界で大活躍した日本人と言えば、ほとんどの人がメジャーリーグの大谷翔平選手を挙げるとと思います。大谷選手がドジャースと結んだ10年7億ドル(約1001億円)というスポーツ史上最高額の契約も大きな話題になりました。ここで、大谷選手の愛読書をひとつ紹介します。彼が花巻東高校時代に佐々木監督から渡された本です。中村天風著「運命を拓く」です。この本は、松下幸之助、稻森和夫などの実業界や、スポーツ界でも大きな影響を与えるしました。スポーツキャスターの松岡修造さんも「読むと生きる力が湧いてくる元気の源」と絶賛しています。本の内容は、ひと言で言えば、「積極的な考え方や生き方」の天風理論が書かれています。大谷選手が語った数々の名スピーチや名言と天風語録が重なります。例えば、WBC決勝戦の前にロッカールームで仲間達に呼びかけた「憧れるのをやめましょう。」は、「自己を作るものは自己なり」という天風理論が凝縮された一言だと言われています。



今年の学園スローガンは、「自分を磨け」です。自分を磨く方法はいろいろあると思います。そのひとつとして、本との出会いを薦めます。本校の図書室や市民図書館には、本がたくさんあります。その中で、自分を伸ばし、高めてくれる本と出会って欲しいです。大谷選手のように、高校時代に自分の生き方に影響を与える本と出会い、その本を座右の書として人生で活躍してほしいと思います。

ふくりゅうほうすう

自分を磨け！ 伏竜鳳雛

今年の干支は辰です。竜にちなんだ故事成語や四字熟語はいろいろあると思いますが、今でも、脳裏に鮮明に覚えている四字熟語があります。以前、私が勤めていた中学校で校長をしていたとき、授業参観で3年生のある教室を訪れました。教室の後ろのドアを開けた途端、黒板の上に掲げられていた学級スローガンの四文字が目に鮮烈に飛び込んできました。「伏竜鳳雛」と毛筆で大きく、力強く書かれていました。

学級スローガン

伏竜鳳雛



この言葉は、もともと三国志から出てきたものです。意味は、「伏竜」は、池中にひそみ昇天の時機をうかがっている竜のことで、かの有名な諸葛孔明を表しています。また、「鳳雛」は、鳳凰のひなのことです。転じて、将来有望な若者にたとえられています。担任の先生が、クラスの生徒達に向かって、「君達は、今は『伏竜鳳雛』の時だ。今はしっかりと自分を磨いて、自分の進路を開拓し、将来有望な人になってほしい。」と叱咤激励している姿が目に浮かんできました。

生徒の皆さん、皆さんも、今は「伏竜鳳雛」です。これから自分をどんどん磨いて伏竜から、立派な昇り竜になってください。

今年も夢や目標に向かって、みんなで心を一つにしてがんばりましょう。

